



石造宝篋印塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうほうきょういんとう
所在地	吉備中央町円城
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	延文2年(1357)の完成。花崗岩製。総高3.15m。基礎に銘文が刻まれており、それによれば、僧の蓮宥が願主となり、石工の碩隆が造立したものと分かる。この宝篋印塔がある円城寺は、もともとは現在の吉備中央町円城の本宮山の中腹にあって正法寺と称していたが、弘安6年(1283)に現在地に移転したという。
アクセス方法	JR金川駅から車で約30分
公開状況	外観のみ
設備	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 駐車場  トイレ  </div>
備考	